

とりいまついせきつうしん 鳥居松遺跡通信

No.7

(財) 浜松市文化振興財団・浜松市文化財担当課

2008年3月25日

■ 現地説明会を行いました。



3月16日(日) 午前10時と午後1時30分からの2回、今回の発掘調査についての現地説明会を実施しました。14日に降った大雨で遺跡の一部が水につき心配しましたが、予定通り行うことができ、ほっとしています。

当日は、駐車場がない不便な現場であったにもかかわらず、約400人の方々にお越しいただき、遺跡の様子や木

簡・土器などの出土遺物を、職員の説明に熱心に耳を傾けながら見学していただきました。合わせて行った発掘体験にも80人以上の親子の参加があり、砂の中から次々に見つかる土器に歓声を上げ、時間を忘れて発掘されていました。



小川に堆積した地層の年代を解説



多くの出土遺物の特徴を解説



多くの人で賑わった発掘体験



「また、見つかったよ。」と大喜び

■ 飾り大刀を取り上げました。

20日の新聞各紙等でご覧になった方も多いと思いますが、小川の底から見つかった大変珍しい金装円頭大刀を保存処理のために取り上げました。



■ 小川(大溝)の調査も最終盤です。



小川の底からは、弥生から古墳時代の土器が敷き詰められたように出土しています。